

日本看護系学会協議会の 始まりと今日の課題

日本看護系学会協議会

会長 片田範子

平成30年6月18日

本日の内容

- 日本の看護学の発展の源流
- 看護系学会協議会の目的
- 活動
- 今日の課題

源泉から今日まで

1975年 日本看護系大学協議会発足 (6大学)

↓ 継続討議

1981年 日本看護科学学会 (JANS) 設立

1982年 文部科学省科学研究費対策委員会

日本学術会議学・協会登録推進委員会

日本学術会議登録申請

1987年 日本学術会議に登録される

1988年 日本学術会議対策委員会に名称変更、後に看護学
学術基盤整備委員会として名称変更

2001年 日本看護系学会連絡協議会<現JANA> (23学会)

2005年 看護界発の日本学術会議会員 (南裕子氏)

2008年 JANS看護学学術基盤整備委員会会務をJANAに継
承し、委員会活動を終了

2015年 一般社団法人日本看護系学会協議会 (42学会)

日本看護系学会協議会（JANA）

〈目的〉

看護学の学術的発展をめざす看護系学会の相互交流と連携をはかり、看護学研究の成果を社会に還元する学会活動を支援し、また看護学学術団体の立場から、人々の健康と生活の質の向上のため国や社会に向かって必要な提言を行う

看護学の学術的発展のためには、そこに関わる研究者全体としての組織化が不可欠であり、そのために看護系学会の協議体として23の学会とともに協議会が発足された。

JANAの社員

(日本学術会議協力学術研究団体)

第6条 本法人の社員は、本法人の目的に賛同し、以下の要件すべてを満たす看護系学会をいう。

- 1) 個人会員の数が100人以上であること
- 2) 看護学分野における学術研究の向上発達を図ることを目的としていること
- 3) 研究者の自主的集まりで、看護学研究者が会員の半数以上であること
- 4) 役員半数以上が、原則として看護学研究者であること
- 5) 構成員の資格が特定の大学、学術研究機関その他の団体に限定されないこと
- 6) 学術に関する機関誌を継続して3年以上、年1回以上発行(電子発行を含む)していること

日本看護系学会協議会社員

- (公社) 日本看護科学学会
- (般社) 聖路加看護学会
- (般社) 日本がん看護学会
- (般社) 日本看護学教育学会
- (般社) 日本看護管理学会
- (般社) 日本看護研究学会
- (般社) 日本救急看護学会
- (般社) 日本クリティカルケア看護学会
- (般社) 日本公衆衛生看護学会
- (般社) 日本循環器看護学会
- (般社) 日本小児看護学会
- (般社) 日本助産学会
- (般社) 日本精神保健看護学会
- (般社) 日本創傷・オストミー・失禁管理学会
- (般社) 日本地域看護学会

- (般社) 日本糖尿病教育・看護学会
- (般社) 日本母性看護学会
- 高知女子大学看護学会
- 千葉看護学会
- 日本アディクション看護学会
- 日本運動器看護学会
- 日本家族看護学会
- 日本看護医療学会
- 日本看護技術学会
- 日本看護教育学学会
- 日本看護診断学会
- 日本看護福祉学会
- 日本看護倫理学会
- 日本看護歴史学会
- (般社) 日本災害看護学会
- (般社) 日本在宅ケア学会

- 日本手術看護学会
- 日本新生児看護学会
- (般社) 日本腎不全看護学会
- 日本生殖看護学会
- 日本赤十字看護学会
- 日本難病看護学会
- 日本放射線看護学会
- 日本母子看護学会
- 日本慢性看護学会
- 日本ルーラルナーシング学会
- (般社) 日本老年看護学会
- 北日本看護学会
- 日本ニューロサイエンス看護学会

平成30年度総会前メンバーシップ
総会後+2社員追加予定含46学会 6

〈事業〉

第4条 本法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1) 社員相互の情報交換
- 2) 日本学術会議及び国内外の学術組織との交流・相互協力
- 3) 看護系の学会活動の支援
- 4) 国や社会に向けての必要な提言
- 5) その他本法人の目的達成に必要な事業

〈見解・声明〉

- 2017年度一般社団法人日本看護系学会協議会社員の総会で提案した「日本看護系学会協議会「軍事的安全保障研究に関する声明」を受けて-日本看護系学会協議会の見解-」
(PDF形式 1.3 MB)
- 日本学術会議「軍事的安全保障研究に関する声明」を受けて-日本看護系学会協議会の見解- (2017年07月18日総会決議)
- 「科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018」に関する意見2017年03月20日
- 看護師特定能力認証にかかわるカリキュラムの考え方（案）に関する要望書（2012年 6月24日総会決議）（PDF形式 68.5 KB）
- 看護師特定能力認証にかかわるカリキュラムの考え方（案）に関する要望書（2012年 6月24日総会決議）＜同封書類＞日本看護系学会協議員名簿（PDF形式 88.7 KB）
- 「提言：高度実践看護師としての特定看護師（仮称）の能力」および資料(1)（PDF形式 1.2 MB）（2011年5月14日）
- 「提言：高度実践看護師としての特定看護師（仮称）の能力」および資料(2)（PDF形式 805.5 KB）（同上）

最近のJANA主催シンポジウム等

予告「高度実践看護師の裁量権拡大を考えるー健やかな超高齢化社会の実現へ向けてー」日本学術会議（JSC）看護分科会・JANPUとの共同主催（PDF形式 1.2 MB）2018年6月27日

「地方創生時代の看護系大学のチャレンジャー看護学の変革と課題」JSC看護分科会との共同主催 4シンポジスト（4組織）（2017年12月11日）⇒学術の動向6特集2

平成29年度日本看護系学会協議会講演会「看護ケアガイドラインの開発と看護系学会の役割」2017年6月28日

日本看護科学学会後公開シンポジウム「医療事故調査制度を知ろうー運用開始から1年を振り返って」（2016年12月11日）JANA

最近のJANA主催シンポジウム等 2

- 「安全保障と学術の問題に看護はどう取り組むか」（2017年3月26日（日） JANA・JSC看護学分科会・JANPU
- 「分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準」に関する公開シンポジウム（2017年3月26日（日） 10時-12時） JSC看護分科会・JAPNU・JANA
- 日本学会議健康・生活科学委員会主催シンポジウム「これからのいのちと健康と生活をまもるー災害時に生き抜くための力を養う」
2017年年3月11日災害看護学会からのシンポジスト参加

最近のJANA主催シンポジウム等 3

- 2017年5月号特集「これからの社会におけるケアサイエンスの構築をめざして ―看護学からの提案」



- 公開シンポジウム「ケアサイエンスとは何か、その必要性を議論する」JSC看護分科会・JANA 2016年7月23日
- 公開シンポジウム「ケアサイエンスの必要性と看護の役割」JSC看護学分科会・JANA、医歯薬アカデミー（講演）2014年3月1日

事業展開

- 1年1回の総会開催
 - 公開シンポジウムの開催
 - ニュースレターの発行
 - 日本学会議との連携
- ⇒ 年1回の総会開催
 - ⇒ 公開シンポジウム等
年会、緊急時
 - ⇒ ニュースレターの発行
と速報をオンラインで
 - ⇒ 災害連合体
 - ⇒ 他領域のシンポジウム等への専門家参画
 - ⇒ 専門委員会等への参画

今日の課題

1. 看護学の学術的发展を支えるため、看護学研究の環境を改善・整備する。
 - (1) 日本学術会議等との連携を図り、看護学の可視化を推進する
 - (2) 看護学研究活動に影響する社会情勢について情報収集・分析し、適時適切に情報共有する
 - (3) 看護学研究に対する公的研究費の拡大に向けて、組織的・戦略的に取り組む

今日の課題

続き

2. 看護学研究成果を効果的に社会に還元するため、学会横断的な仕組みを構築する。
 - (1) 看護領域のガイドラインの開発、普及、構造化の推進に組織的に取り組む
 - (2) 社会のために看護系学会が連携して取り組むべき課題を設定し、社員学会とのを訴組織化を工夫し、学会連携活動を強化する

今日の課題

続き

3. 看護系学会を代表する立場から、人々の健康や生活の質の向上のため、国や社会に向けて積極的に提言する。

- (1) 人々の健康や生活の質に影響する事柄について、世論形成、政策過程に関与する
- (2) 看護学の社会的価値について広く支持を得るため、広報を含め組織的・戦略的な活動を行う